前回までの あらすじ

突如として現れた深海棲艦との
混乱に乗じてロシアが
北海道侵攻を決行
辛くも停戦に持ち込んだ
日本は賠償艦として
響をロシアに引き渡した
ロシアに向かう艦の中で
ロシア兵に輪姦される響
そんな響を救ったのは…
バタッ
バタッ
大丈夫ですか？お嬢さん
礼なら我が祖父に
君に会うためにヘリを飛ばしてきたのだから
不届きなチェキストに代わり非礼をお詫びします
…スパシーバ
ファサッ
まさかこのような形で再会できるとはな…
いや…
ここでは「初めまして」と言っておくべきか…
カツ

ヴェールヌイ
…『信頼する』？
君のもう一つの名だよ忘れてしまったのかい？
それとも記憶を継いでいないのか…
まぁいい
そんな格好では落ち着かないだろう
アレクセイシャワー室まで案内して差し上げろ
はいお祖父様
どうぞこちらです
着替えはこちらをお使いください
外で待機していますので何かあればお呼びください
スッ

シャー
…『ヴェールヌイ』
何か懐かしく感じる響き…
あの人は前の私を知っている？
んっ
ズキッ
司令官に捧げるモノを私は失ってしまった
ガクッ
どんな事があっても司令官の元に戻ると誓ったのに…
もうあなたに会わす顔がない
…司令官
もっと素直に司令官の気持ちに応えていれば…
ポタ
もっと自分の気持ちに正直になれていれば
ポタッ
私は…

お連れしました
用意した服は気に入らなかったかね？
ギィッ
まぁよかろう
本国に着くまでここが君の部屋だ
手狭だが我慢して欲しい
パタンッ
遠慮せずに座りたまえ
ロシアンティーだ
ギシ…ッ
口に合うといいがね
ズズ
……
警戒しなくていい
君はもう我らの同志だ
毒など入れてはせんよ
コクッ

フクースナ（ぉぃしぃ）…
それは良かった
…さて改めて自己紹介しよう
私は『ゴロドグ・ロリスキー』
退役はしているがこれでも少将でね
君が賠償艦としてソ連に来た時
私は下士官学校上がりの新兵で
初めて着任した艦が君だった
辞令を受けた時正直なんで敗戦国の艦なんかにと思ったものだが
君を間近で見て私は君に一目惚れをした
乗艦して数日で我慢できなくなった私は
夜な夜な君と愛し合うようになった…
愛し合う？

君の甲板でっ
ぐりっ
ヴェ…
ヴェールヌイたんのぉ
スベスベな
リノリウム素股っ♪
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ
おっ
おっ❤
ちっぱい装甲パイズリの
冷たい感触がぁ…❤
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ
装甲でっ！
砲塔でっ!!
１２．７cm連装マンコに
中出しぃ〜っ！
……
何？
この人…

私と君は身体を重ねたのだよっ！
ガバッ
ち…近づかないでこのヘンタ…
い？
ポロッ
ガシャ
ピクッ
こ…これは…？
毒は入れてないが一服盛らせてもらったよ
ピクッ
本当は時間を掛けて身も心も私のモノになって欲しかったのだが…
生憎 本国に着くまでの時間しかないんでね
サディストな科学者に君も触られたくはないだろう？
私の保護下に入るのが君のためでもあるのだよ
ザザッ
ピクッ
ピクッ